

# 日本気象学会2000年春季大会

会期：2000年5月24日（水）～26日（金）

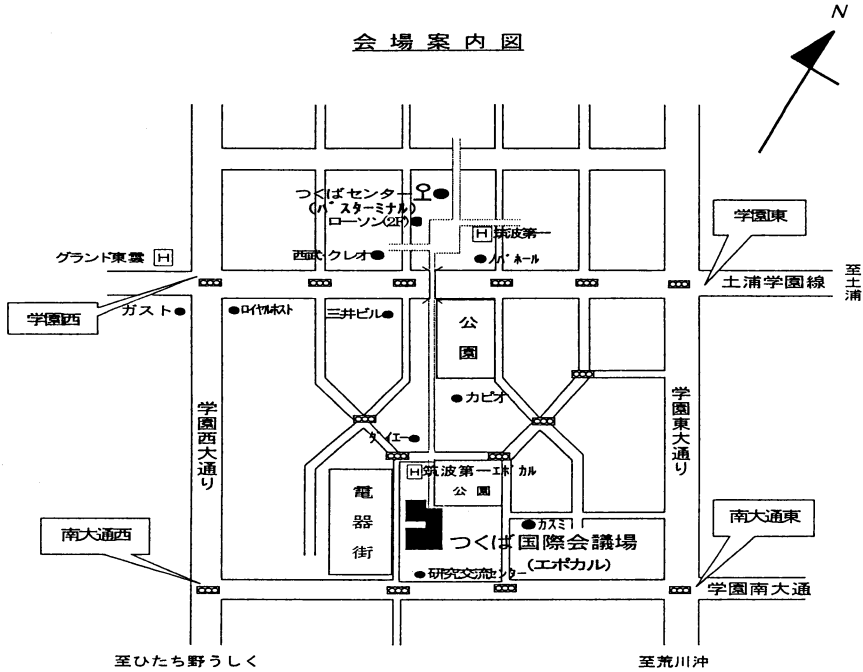
会場：つくば国際会議場（エポカルつくば）

茨城県つくば市竹園2-20-3

## 【当日の会場への連絡方法】

大会実行委員会事務局 電話・FAX 0298-61-0601（直通） ※学会開催期間のみ有効  
 （エポカルつくば 受付：1F 控室：3F 小会議室301号室）

会場案内図



- JR常磐線の場合  
 ひたち野うしく駅（東口）、土浦駅（西口）の各駅より関東鉄道バス「筑波大学中央」行きに乗車し、「つくばセンター」にて下車。
  - 高速バス利用の場合  
 東京駅八重洲口南口より高速バスの＜特急つくば号＞「つくばセンター」行きに乗車し、終点「つくばセンター」にて下車。
  - 羽田空港1F到着ロビーバス乗り場より「つくばセンター」行きに乗車し、終点「つくばセンター」にて下車。
- つくばセンターから徒歩約10分**



※ 会場付近には十分な駐車場がありませんので、ご来場の際には、電車・バス等をご利用ください。

## 大会行事予定

A会場 : 大会議室101号室(1階)      展示会場 : 多目的ホール(1階)  
 B会場 : 大会議室102号室(1階)      懇親会 : 大会議室101, 102号室(1階)  
 ポスター会場 : 多目的ホール(1階)      受付 : ロビー(1階)  
 シンポジウム・総会・記念講演会場 : 大ホール(1階)      大会事務局 : 小会議室301号室(3階)

( )内は講演数と講演番号

		A会場	B会場
5月24日 (水)	09:30～ 13:00	<b>専門分科会</b> : (9, A101-A109) 「バイオマス燃焼の大気化学への影響」	<b>専門分科会</b> : (16, B101-B116) 「成層圏変動と気候」
	14:00～ 16:00	<b>シンポジウム</b> : 「21世紀の気候変化～予測とそのもたらすもの～」 司会・講演: 近藤洋輝 基調講演: 森田恒幸, 野田彰, 佐藤康雄, 原沢英夫	
	16:10～ 18:30	<b>ポスター概要紹介</b> : (48, P101～P148) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 物質循環 I, 気象予報 他	<b>ポスター概要紹介</b> : (48, P151～P198) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 気候システム I, 熱帯大気 他
5月25日 (木)	09:00～ 12:30	<b>一般口頭発表</b> : (11, A201～A211) <b>ポスター概要紹介</b> : (45, P201～P245) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 物質循環 II, 大気力学 他	<b>一般口頭発表</b> : (11, B201～B211) <b>ポスター概要紹介</b> : (45, P251～P295) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 降水システム I, 観測手法 他
	13:30～ 15:00	<b>総会</b>	
	15:10～ 17:00	<b>学会賞・藤原賞受賞記念講演</b>	
	18:00～ 20:00	<b>懇親会</b>	
5月26日 (金)	09:00～ 12:30	<b>一般口頭発表</b> : (11, A301～A311) <b>ポスター概要紹介</b> : (45, P301～P345) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 大気境界層, 気候システム II 他	<b>一般口頭発表</b> : (12, B301～B312) <b>ポスター概要紹介</b> : (45, P351～P395) (概要紹介後, ポスター会場で講演) キーワード: 降水システム II, 相互作用 他
	13:30～ 17:00	<b>専門分科会</b> : (13, A351-A363) 「エアロゾルの気候影響について」	<b>専門分科会</b> : (12, B351-B362) 「フラックス観測ネットワーク: Asia Fluxと陸域生態系における炭素・水収支研究プロジェクト」

発表件数: 371件 (一般口頭45, 一般ポスター276, 専門分科会50)

大会参加費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 2,000円, 学生会員 1,000円;  
 当日受付の場合は 一般会員 3,000円, 学生会員 2,000円, 非会員 3,000円。  
 懇親会費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 4,500円, 学生会員 3,000円;  
 当日払いの場合は 一般会員 5,000円, 学生会員 3,500円, 非会員 5,000円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いします。

なお郵便振替用紙は「天気」1月号の末尾に挿入されたものを使い, 5月12日までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: org-msj@uri-jma. go. jp)まで。

## 一般講演の方法

### ポスター発表

- ・AまたはB会場で概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演を行います。講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい
- ・奇数番号の発表者は11:00-11:30(大会初日は17:00-17:30)、偶数番号の発表者は11:30-12:00(大会初日は17:30-18:00)には必ずポスターの前にいて下さい。
- ・一人当たり使用可能面積は、幅1m×高さ2.1mとなっています。ポスターの掲示の際、**紙・ピンが使用可能**です(糊・テープ

等は使用不可)。これらは**各自で用意**して下さい。  
 ・ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。

- 第1日の発表者は5/24 09:30-18:30
- 第2日の発表者は5/25 09:00-17:00
- 第3日の発表者は5/26 09:00-17:00

### 口頭発表

一般口頭発表は、**講演4分・質疑1分**で行います。

## 総 会

日時:大会第2日(5月25日) 13:30~15:00

会場:つくば国際会議場 大ホール

### 議事次第:

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1. 開会の辞       | 8. 1999年度監査報告          |
| 2. 議長選出       | 9. 2000年度日本気象学会総会議案    |
| 3. 理事長挨拶      | 10. 2000年度事業計画案        |
| 4. 学会賞授与      | 11. 2000年度予算案の審議       |
| 5. 藤原賞授与      | 12. 議長解任               |
| 6. 1999年度事業報告 | 13. 閉会の辞               |
| 7. 1999年度会計報告 | 引き続き学会賞及び藤原賞受賞記念講演を行う。 |

## シンポジウム

### 「21世紀の気候変化 ~予測とそのもたらすもの~」

日時:大会第1日(5月24日) 14:00~16:00

会場:つくば国際会議場 大ホール

司会:近藤洋輝(気象研究所気候研究部)

### 趣旨

近年、来世紀に向けての気候変化予測の研究が全球規模だけでなく地域規模に関しても進展している。また、予測から想定される環境や社会への影響、あるいは対応策などの研究も活発であり、気象学会に関連の深い分野である。これらの成果は、国際的枠組みである「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」に貢献している。

20世紀最後の年に当たり、各分野の研究の現状報告に基づいた、学際的な討論の場を提供し、またIPCCの果たす学術的意義を考察する機会としたい。

### 講演

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ・「学際的観点から見たIPCCの経緯と現状」 | 近藤洋輝(気象研究所気候研究部)       |
| ・「気候変化予測のための排出シナリオ」    | 森田恒幸(国立環境研究所社会環境システム部) |
| ・「地球温暖化に伴う全球的な気候変化予測」  | 野田彰(気象研究所気候研究部)        |
| ・「地球温暖化に伴う日本域の気候変化予測」  | 佐藤康雄(気象研究所環境・応用気象研究部)  |
| ・「地球温暖化のアジア地域への影響」     | 原沢英夫(国立環境研究所社会環境システム部) |

### 総合討論

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 第15回メソ気象研究会

冬季日本海に発生・発達するメソスケール擾乱をテーマに、以下の内容で研究会を開きます。学会前日ですが、関心のある方は奮って参加ください。

テーマ：「冬季日本海の擾乱—JPCZから冬季雷まで—」  
 コンビナー：小林文明(防衛大)  
 日時：2000年5月23日(火)(大会前日)14時～17時  
 場所：気象研究所・講堂(つくば市長峰1-1)

- 1 主旨説明 小林文明(防衛大)
- 2 新野宏・柳瀬亘(東大海洋研)  
「日本海のポーラーロウについて」
- 3 猪上淳(北大低温研)  
「季節海水域における気団変質」

- 4 山田広幸(北大院理)  
「レーダーでみた対流セルの発達過程」
- 5 村上正隆(気象研)  
「日本海上の降雪雲の内部構造」
- 6 河崎善一郎(阪大院)・紫村孝嗣(防衛大)  
「冬季雷雲構造と雷観測」
- 7 吉崎正憲(気象研)  
「本年度の日本海観測計画について」
- 8 総合討論

問い合わせ先：吉崎正憲(気象研)  
 〒305-0052 つくば市長峰1-1  
 TEL : 0298-53-8631  
 E-mail: myoshiza@mri-jma. go. jp

### シンポジウム「気象学に開かれゆく世界」(第4回)

主催：日本学術会議気象学研究連絡委員会  
 テーマ：「揺れ動く21世紀の大学・研究所の将来像」

21世紀を迎えようとする今日、気象学研究者の周辺においても省庁合併、独立行政法人化、新しい研究機関の創設等、国立大学や研究機関をめぐる情勢は大きく変転しようとしています。その中で、私達はどのような方向を選択し、その実現に向けて努力をするべきなのでしょう。個々の研究の問題と平行して、このような研究体制に関する問題を議論することも、より良い研究環境を創成していくために重要です。今回は、これらの問題に関する現状や将来構想についての話題提供と討論の場を設定しましたので、お集まりください。

話題提供予定者：  
 住明正(東大気候システム研究センター)

早坂忠裕(総合地球環境学研究所(仮称)創設調査室)  
 笹野泰弘(国立環境研究所)  
 杉正人(気象研究所)  
 田中敏(科学技術庁海洋地球課)  
 その他数名

日時：2000年5月23日(火)(大会前日)14時～17時  
 場所：つくば国際会議場(大会会場)内  
 コンビナー：山内恭、中島映至

連絡先：木田秀次(気象研連幹事・京大理)  
 Tel: 075-753-4271  
 E-mail: kida@kugi. kyoto-u. ac. jp  
 山内恭(気象研連担当世話人・極地研)  
 Tel: 03-3962-5680  
 E-mail: yamanou@pmg. nipr. ac. jp

### 第1回気象教育研究連絡会

今回は小・中・高等学校の教員の方々に、学校教育現場の現状と問題点を報告していただきます。学校教育においては以前から、気象学の専門知識を持つ教員が少ないなどの問題がありましたが、さらに2002年に施行される新学習指導要領では他の多くの分野同様、気象学に関しても学習内容が大幅に削減され、多くの国民にとって気象の基礎知識がますます縁遠いものとなることは必至の情勢です。これらの問題について今後議論を行っていくために、まずはさまざまな立場の学会員にある程度の共通認識を持っていただくことを第1回の主目的とします。  
 (「天気」2月号129ページも参照)

日時：2000年5月24日(水)(大会1日目)18:30-20:00  
 場所：つくば国際会議場(大会会場)3階 304会議室  
 テーマ：「学校教育における気象学の現状と新学習指導要領」  
 話題提供：名越利幸(東京都町田市立武蔵岡中学校)  
 坪田幸政(慶応義塾高等学校)  
 連絡先：北島尚子(気象研究所台風研究部)  
 TEL:0298-52-9167, FAX:0298-53-8735  
 E-mail: nkitab@mri-jma. go. jp

### 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2000年5月26日(金)(大会3日目)17:15～2時間程度  
場所：つくば国際会議場(大会会場)2階 202会議室

特別講演：「海洋-大気結合モデルによるabrupt climate changeの研究」  
真鍋淑郎(地球フロンティア研究システム)

北大西洋の海洋深層循環が気候変動に果たす役割について、氷床コアや深層コアのデータなど極域寒冷域変動に関する話を含めて、参加者の皆様との質疑応答を交えつつお話ししていただく予定です。

代表：木村龍治(東大海洋研)  
世話人：平沢尚彦(国立極地研), 中村尚(東大理学部),  
浮田甚郎(NASA), 高田久美子(国立環境研),  
阿部彩子(東大気候システム), 佐藤薫(国立極地研), 本田明治(地球フロンティア)

問い合わせ先：本田明治(地球フロンティア)  
〒105-6791 東京都港区芝浦1-2-1  
シーバンスN館7階  
TEL : 03-5765-7124  
FAX : 03-5232-2440  
E-mail:meiji@frontier.estor.jp

## ベストポスター賞について

1997年春季大会から分科会とポスターによる新方式が導入されました。ポスターによる一般発表を一層活性化する目的で、講演企画委員会は常任理事会の承認を得て「ベストポスター賞」を設けております。本年も春季大会において、引き続きベストポスター賞の選考および表彰を行います。これは以下の評価基準により選出されるものです。

- ユニークで印象に残り、苦勞のあとが伺えるようなポスターを表彰する。
- 他分野の者にも分かり易いお手本となるようなポスターを表彰する。

○学術的な内容も評価の対象とするが、学会賞などのように学術水準を重点的に評価するものではない。

つきましては、ベストポスター賞の趣旨をご理解頂き、大会参加者全員による投票をお願いします。

具体的な選考手順等については大会受付にてご案内いたします。なお、受賞者には賞状と記念品を贈呈し、ポスターの写真と内容の簡単な解説を「天気」に投稿していただくと同時に、ポスターのお手本として次大会で再度掲示していただく予定です。

## 保育施設幹旋について

大会に参加される会員のため、大会実行委員会では保育施設の幹旋を行います。保育費用の一部補助についても検討中です。詳細については「天気」4月号および気象学会ホームページ<http://www.soc.nacsis.ac.jp/msj/>にてお知らせします。

連絡先：〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1  
気象研究所環境・応用気象研究部 清野直子  
TEL: 0298-53-8615, FAX: 0298-55-7240

## 秋季大会の予告

2000年度秋季大会は、2000年10月18日(水)～20日(金)に京都テルサ(京都市)で開催されます。大会告示は「天気」5月号に掲載します。春季大会の発表申し込み締め切りは2000年8月中旬頃となる予定です。

## お知らせ

1999年度秋季大会講演予稿集から欠落していた講演番号P170「矢部愛・長田和雄(名大STE研)他2名 名古屋でみられた夜間のオゾン高濃度現象の季節変化」を本大会講演予稿集の本文冒頭に掲載させて頂きました。

## 大会第1日〔5月24日〕 09:30~13:00

### 専門分科会

(      は講演者を表す. [P]=プロジェクター使用予定)

### A会場

#### 「バイオマス燃焼の大気化学への影響」

座長：近藤豊(東大先端研)

- 09:30-09:50 A101 近藤豊(東大先端研)・BIBLEサイエンスチーム 熱帯インドネシア, オーストラリアにおけるバイオマス燃焼航空機観測
- 09:50-10:15 A102 北和之・宮崎雄三(東大院理)他13名 インドネシア域でのバイオマス燃焼による対流圏オゾン増大現象とそのENSOに伴う変化～地上観測および航空機観測キャンペーンBIBLE-Aの結果より～
- 10:15-10:30 A103 須藤健悟・高橋正明(東大気候システム)他1名 ENSO時の森林火災及び気象場の変動による対流圏オゾン量増加について-全球3次元光化学モデルを用いた数値実験-
- 10:30-10:50 A104 小池真(名大STE研)・近藤豊(東大先端研)(名大STE研)他 西太平洋熱帯域における窒素酸化物:雷とバイオマス燃焼の影響
- 10:50-11:05 A105 白井知子(NASDA/EORC)・D. R. Blake(Univ. of California)他11名 Trace gas emissions from biomass burning observed over Northern Australia during BIBLE-B aircraft observation campaign (Aug. -Sep., 1999)
- 11:05-11:15 休憩
- 11:15-11:35 A106 松枝秀和・吉川久幸(気象研)他2名 上部対流圏に対するバイオマス燃焼の影響
- 11:35-11:55 A107 堤之智・澤庸介(気象研)他8名 インドネシア上空でのバイオマスバーニング煙霧中の大気成分の特徴
- 11:55-12:15 A108 岡田菊夫・池上三和子(気象研)他8名 インドネシア森林火災により発生したエアロゾル粒子の性状
- 12:15-12:30 A109 梶井克純・谷本浩志(東大先端研)他8名 シベリアの森林火災における大気環境への負荷量の見積もり

### B会場

#### 「成層圏変動と気候」

#### 趣旨説明

- 09:30-09:36 B101 宮原三郎(九大理) 成層圏力学過程とオゾンの変動およびその気候への影響

#### I. オゾンなど大気微量成分の空間分布・時間変動の実態把握

座長：塩谷雅人(北大院地球環境)

- 09:36-09:42 B102 塩谷雅人・山崎孝治(北大院地球環境)他1名 大気微量成分の時空間変動を通して見た熱帯成層圏-対流圏結合

- 09:42-09:57 B103 江口菜穂・塩谷雅人(北大院地球環境) UARS MLSデータを用いた上部対流圏水蒸気量分布の解析
- 09:57-10:12 B104 中島英彰(環境研)・石川善徳(茨城大理)他3名 ILASの観測による北極域高緯度での1997年春～夏にかけてのオゾンの減少について
- 10:12-10:27 B105 長浜智生(名大理)・中根英昭(環境研)他3名 陸別広帯域ミリ波分光計による成層圏オゾン鉛直分布観測
- 10:27-10:42 B106 栗原徹也・田中浩(名大大気水圏) 名古屋上空のオゾン関連大気微量成分の準2年周期性について

## II. 密接に関連する力学過程・大気微量成分の変動機構の解明

座長：高橋正明(東大気候システム)

- 10:42-10:48 B107 高橋正明(東大気候システム)・秋吉英治(環境研)他7名 高分解能大気大循環化学モデルによる物質輸送の研究
- 10:48-11:03 B108 滝川雅之・高橋正明(東大気候システム)他1名 CCSR/NIES気候-化学モデルを用いた火山噴火と気候変動に関する研究
- 11:03-11:18 B109 中根英昭(環境研) オゾン等の時間・空間変動の機構解明 観測-解析-モデル研究 [P]

11:18-11:30 休憩

## III. 成層圏-対流圏域の力学諸過程の時間空間変動の実態把握

座長：余田成男(京大理)

- 11:30-11:36 B110 余田成男(京大理)・石岡圭一(東大数理)他4名 大規模大気波動に伴う物質輸送とその季節変動・年々変動
- 11:36-11:51 B111 内藤陽子・廣田勇(京大理) 南半球におけるプラネタリー波伝播の年々変動と赤道QBOの関連
- 11:51-12:06 B112 黒田友二・小寺邦彦(気象研) 極夜ジェット振動と北極振動の関係
- 12:06-12:21 B113 冨川喜弘・藤原正智(東大理)他4名 中緯度下部成層圏オゾン層状構造の解析III

## IV. 成層圏大気の気候変動・環境変動に対する影響の解析・予測

座長：廣岡俊彦(九大理)

- 12:21-12:27 B114 廣岡俊彦・伊藤久徳(九大理)他2名 成層圏オゾンと大気大循環の変動に関する研究
- 12:27-12:42 B115 渡辺真吾・廣岡俊彦(九大理)他1名 オゾンホールが大気大循環の経年変動に与える影響:GCM実験による評価
- 12:42-12:57 B116 岩崎俊樹(東北大大理)・加藤寿史(気象庁環境気象)他2名 化学輸送モデル(CTM)を用いたオゾンの実況監視予測システムIII 系統的誤差とこれからの計画について

## 大会第1日〔5月24日〕 16:10~18:30 A会場

[キーワード：物質循環 I, 気象予報 他]

司会：住明正(東大気候システム)

(      は講演者を表す)

### ポスター発表

[概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演]

- P101 新添多聞(京大防災研)・木田秀次(京大院理) 三次元化学輸送モデルを用いた汚染大気における硫黄循環の研究
- P102 竹村俊彦(東大気候システム)・岡本創(通総研)他3名 全球3次元エアロゾルモデル - (2) on-lineモデルの結果検証
- P103 鈴木健太郎・中島映至(東大気候システム)他4名 エアロゾルの雲の場への影響~GCMと衛星観測の両面から~
- P104 高宮久美子・岩坂泰信(名大STE研)他9名 顕微FTIRによるエアロゾル粒子の表面物質の分析：視野に複数個の粒子が存在する場合の処理法
- P105 猪股弥生・松永捷司(名大STE研)他6名 対流圏における硫化カルボニルの濃度の緯度分布
- P106 木戸瑞佳・長田和雄(名大STE研)他2名 地上の大気塵象と自由対流圏エアロゾル粒子中のカルシウムイオン濃度
- P107 西田千春・岩坂泰信(名大STE研)他5名 名古屋における凝結核(CN)粒子数濃度の計測
- P108 長田和雄・木戸瑞佳(名大STE研)他6名 乗鞍岳における大気エアロゾル粒子の粒径分布と体積濃度
- P109 塩原匡貴(極地研)・山崎明宏(気象研)他1名 乗鞍山岳観測で見られたエアロゾルの粒径分布の日変化の違いについて
- P110 林和彦(気象大)・村上健太郎(農工大)他6名 富士山頂における大気化学観測 - 降水・エアロゾルの化学成分の変動要因 -
- P111 宮下春奈・三浦和彦(東理大理)他3名 東京で測定した炭素質エアロゾルについて
- P112 原壮史・三浦和彦(東理大理)他8名 海洋大気境界層内エアロゾルの係留気球観測
- P113 池上三和子・岡田菊夫(気象研)他3名 北西太平洋における対流圏エアロゾルの性状
- P114 牧野行雄・岡田菊夫(気象研)他10名 西太平洋域大気微量成分の航空機観測：PACE-7
- P115 王自發(地球フロンティア)・T. Maeda(NIRE)他1名 A Modeling Study for the Aircraft Campaign along the Coast of China in May 1993
- P116 寺田宏明・植田洋匡(京大防災研)他1名 東アジアにおける酸性雨への黄砂の中和作用
- P117 原圭一郎・長田和雄(名大STE研)他4名 冬春季北極対流圏中の粒子状シュウ酸の混合状態と挙動
- P118 田村耕一・柴田隆(名大STE研)他3名 チベット高原大気のパライダー観測
- P119 Kim Yoon-Suk・岩坂泰信(名大STE研)他6名 成層圏エアロゾル・オゾンの長期変動2：中緯度と低緯度の圏界面付近
- P120 堀川真理子・林田佐智子(奈良女子大理) 成層圏エアロゾルバックグラウンドレベルの比較解析
- P121 齋藤尚子・林田佐智子(奈良女子大理)他1名 ILASで観測された北極域PSCsの組成について
- P122 渡辺幸一(名大大気水圏研)・古賀聖治(資環研) オゾン全量の変動が及ぼす過酸化水素濃度への影響
- P123 藤原正智(東大理)・長谷部文雄(茨大理)他4名 SOWER/Pacific 1998/99年集中観測 - 赤道対流圏界面領域における水蒸気濃度コントロール -
- P124 室井ちあし(気象庁数値予報)・斉藤和雄(気象研)他2名 気象庁非静力学メソモデルの開発とその計算効率
- P125 石川寛広・露木義(気象庁数値予報) 気象庁メソスケールモデルによる4次元変分法データ同化システムの開発 - レーダー・アメダス解析雨量を用いた同化実験 -



- P126 竹内義明・露木義(気象庁数値予報)他4名 全球数値予報モデル用3次元変分法同化解析システムの開発(第3報)
- P127 岡本幸三(気象庁数値予報) 1次元変分法を用いたTOVS放射データの同化(第2報)
- P128 多田英夫・経田正幸(気象庁数値予報)他1名 全球数値予報モデル用の全球積雪深解析の導入
- P129 永田雅(気象庁予報)・美濃寛士(気象庁数値予報) 台風の強度予報Ⅰ -数値予報は台風の強度をどの程度予想しているか-
- P130 杉正人・楠昌司(気象研)他3名 季節予報の潜在的予測可能性について
- P131 青梨和正(気象研) TMI輝度温度データの数値予報モデルへの変分法を用いた同化(その1)
- P132 原昌弘(気象研) 共役勾配法ニューラルネットワークを用いた発雷予測
- P133 野原大輔・田中博(筑波大地球科学) 順圧S-モデルによる現実大気の前報実験 -現実大気の前報スキルとその特徴-
- P134 門倉真二(電中研) 気象庁GPVデータの誤差評価
- P135 可知美佐子(NASDA/EORC)・太原芳彦(気象庁数値予報)他1名 TRMM/TMIデータを利用した気象庁全球モデルへのインパクト試験
- P136 白石将・田中秀俊(三菱電機情報技術総研)他1名 釧路周辺の地上気象観測データからの相関ルール抽出
- P137 上甲実・清原康友(岡山大)他 津山盆地における霧の観測
- P138 木村玲二・石島英(琉球大)他1名 赤外線放射温度計と熱収支モデルによる地表面温度の比較-第2報
- P139 藤谷泰資(イオン情報研) 気温、相対湿度による大地震の前兆現象(Ⅳ) -1946年12月21日の南海地震-
- P140 古川淳一・藤原玄夫(福岡大)他11名 北極対流圏におけるエアロゾルのふるまい
- P141 宮崎雄三・北和之(東大)他4名 西太平洋域上部対流圏におけるオゾン増大現象
- P142 豊田賢二郎(地球フロンティア)・高橋正明(東大気候システム)他3名 微物理過程の粒径依存性を考慮した海塩粒子ハロゲン化学過程の数値計算
- P143 石井宏明・森脇亮(東工大)他1名 東京湾上空の大気構造とCO<sub>2</sub>濃度分布
- P144 松本健・中江茂(東理大)他1名 代理表面法による二酸化硫黄と硝酸の乾性沈着量の測定
- P145 山本和美・田中博(筑波大地球科学) 衛星データを用いた火山灰拡散モデルの検証実験
- P146 金澤明浩・原田大地(東大院工)他4名 実測値との比較によるNIREキャノピーモデル検証
- P147 島田昭男(富士総研)・近藤裕昭(資環研)他9名 メソスケールモデルとミクروسケールモデルの結合に基づく都市環境総合評価のためのソフトウェア・プラットフォームの開発
- P148 預橋哲也・岡村朋子(秋田大工学資源)他5名 制限斜交回転因子分析法及び後退流跡線を用いた秋田八幡平における酸性霧の解析

## 大会第1日〔5月24日〕 16:10~18:30 B会場

[キーワード：気候システム I, 熱帯大気 他]

司会：田中博(筑波大地球科学)

(~~~~は講演者を表す)

### ポスター発表

[概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演]

- |  |  |
|--|--|
| <p>P151 <u>大澤輝夫</u>・植田洋匡(京大防災研)他3名 アジア熱帯域における対流活動と降雨の日変化</p> <p>P152 <u>加藤内蔵進</u>・木下綾子(岡山大教育) 1993年夏の台風・梅雨前線サイクルによる多雨と亜熱帯の下層風変動要因について</p> <p>P153 <u>大和田春樹</u>(東大院)・松本淳(東大) 近年19年間(1979-1997)における秋雨前線の季節内変動と経年変化について</p> <p>P154 <u>武田番男</u>・<u>服部美紀</u>(名大大気水圏研) フィリピン東沖の月降水量と九州南方海上の月降水量の関係の年々変化</p> <p>P155 <u>冨田智彦</u>(地球フロンティア/ハワイ大・国際太平洋研究センター) モンスーン季節内変動の周期と空間構造</p> <p>P156 <u>谷田貝垂紀代</u>(NASDA/EORC) ECMWF高解像度客観解析データとTRMMによるアジアの水循環の3次元の特徴(続)</p> <p>P157 <u>福高慶樹</u>(筑波大院地球科学)・安成哲三(筑波大地球科学) 夏季の西太平洋上の10-25日波動の構造の季節性と維持について</p> <p>P158 <u>徐健青</u>(東北農試)・萩野谷成徳(気象研) チベット高原の地表面熱・水収支(3)計算結果</p> <p>P159 <u>桑形恒男</u>(東北農試)・沼口敦(北大地球環境)他1名 夏期のチベット高原中央部における大気水循環の日変化</p> <p>P160 <u>野村千尋</u>(東北大理) 東アジアおよび東南アジアにおける低緯度寒波の経年変動</p> <p>P161 <u>望月崇</u>・木田秀次(京大院理) 北太平洋海洋フロント域の十年規模変動の熱収支解析</p> | <p>P162 <u>五十嵐弘道</u>(筑波大院生命環境科学)・安成哲三(筑波大地球科学) ユーラシア大陸の積雪面積変動に見られるレジームシフトについて</p> <p>P163 <u>八十嶋恒和</u>(名大情報文化)・甲斐憲次(名大人間情報)他1名 エルニーニョ現象の日本の天候への影響ー熱帯太平洋の海面水温と日本の気温との相関ー</p> <p>P164 <u>梶原誠</u>・高原宏明(東大理)他1名 全国および関東地方平野部における暖候期豪雨頻度の経年変化</p> <p>P165 <u>佐藤朋子</u>(お茶の水女子大院) 日本海低気圧と秋田の降水に関する総観気候学的研究</p> <p>P166 <u>山崎信雄</u>(気象研) 日本における日降水量の極値の経年変化の閾値依存性</p> <p>P167 <u>西澤慶一</u>(電中研) 地域気候モデル第3版を用いた日本の季節循環のシミュレーション</p> <p>P168 <u>西森基貴</u>(筑波大地球科学)・鬼頭昭雄(気象研) 気象研究所大気海洋結合モデルにみられる夏季東アジア域の気候変動</p> <p>P169 <u>村上茂教</u>・鬼頭昭雄(気象研) 結合モデルによる気候最適期の古気候実験にみられる海面水温の低下について</p> <p>P170 <u>野田彰</u>・<u>内山貴雄</u>(気象研)他4名 気象研究所新大気海洋結合モデル(MRI-CGCM2)による地球温暖化実験</p> <p>P171 <u>吉岡真由美</u>・井上孝洋(高度情報科学技術研究機構)他2名 並列化気候モデルの特性評価(第3報)</p> <p>P172 <u>馬淵和雄</u>・佐藤康雄(気象研)他1名 BAIMを導入した局地気候モデルの気候値の検証</p> <p>P173 <u>薄生稔</u>(資環研)・篠田雅人(都立大)他1名 乾燥指数と植生指数による土壌劣化地域の分類</p> <p>P174 <u>大淵清</u>(地球フロンティア) Madden-Julian振動の活動度の経年変動</p> |
|--|--|

- P175 井上豊志郎(気象研) 赤外多チャンネルで観た1998年5月のMadden-Julian振動
- P176 菊地一佳(東大気候システム)・沼口敦(北大地球環境) 季節内変動のエネルギー解析(2)
- P177 奥田俊樹・岡本典子(神大自然)他2名 インドネシアにおける水蒸気場の季節内変動
- P178 岡本典子(神大自然)・山中大学(神大自然/FORSGC)他5名 インドネシア対流圏大気循環の経年変化
- P179 奥勇一郎(神大理)・岡本典子(神大自然)他4名 インドネシア・ジャカルタ周辺における対流活動にみられた日周期変化について
- P180 渡辺明(福島大教育)・立花義裕(東海大文明研)他15名 インドシナ半島における準2日周期変動
- P181 村田文絵(神大自然)・山中大学(神大自然/FORSGC)他9名 インドネシアにおける対流性降水雲に関する研究(第4報)
- P182 湯本道明・松浦知徳(防災科研)他1名 高解像度大気海洋結合モデルで再現された台風活動の長期変動
- P183 北島尚子(気象研) Baroclinic-Influenced Typhoonの予備調査
- P184 板野稔久・内藤玄一(防大)他1名 台風T9918号上陸直前の構造について
- P185 中澤哲夫(気象研)・祝从文(運輸施設整備事業団) 台風9916号の構造変化
- P186 那須野智江・山岬正紀(東大院理) メソスケール対流を解像した熱帯低気圧モデルー積雲対流スケールの効果ー
- P187 益子涉・上野充(気象研)他1名 気象研究所非静力学モデルを用いた台風モデルの開発(序報)ー気象庁GSMとのネスティングと台風ボーガスの導入ー
- P188 寺尾徹・林泰一(京大防災研)他1名 バングラデシュにおける大気鉛直構造の日変化について
- P189 杉本伸夫・松井一郎(環境研)他3名 ライダーで観測されたジャカルタにおける雲とエアロゾル分布の気候学的特徴
- P190 深堀正志・青木忠生(気象研)他3名 CO<sub>2</sub>の2.7 $\mu$ m帯の吸収線パラメータの測定
- P191 岩瀬弘信・早坂忠裕(東北大院理)他1名 雲の不均質性が光学的厚さの衛星観測に及ぼす影響ー1:数値計算
- P192 石元裕史・増田一彦(気象研) 大気散乱体がある場合の地表面散乱特性の平均化
- P193 岩朝美晴(地球フロンティア)・阿部豊(東北大院理)他1名 放射駆動循環がつくる平衡大気の水蒸気非依存性
- P194 真野裕三(気象研) 波長3.7 $\mu$ mにおける六角柱状氷晶の正確な散乱特性
- P195 青木輝夫・青木忠生(気象研)他2名 Doubling and adding modelにおける球面・屈折大気補正の精度
- P196 石崎真弓・青木輝夫(気象研)他2名 モンテカルロ法による球面レイリー大気放射伝達モデル
- P197 中島孝(NASDA)・中島映至(東大気候システム)他2名 非球形粒子による厳密散乱解について(その2)
- P198 對馬洋子・真鍋淑郎(地球フロンティア) Cloud Feedback Process in the annual variation of Earth Radiation Budget

## 大会第2日〔5月25日〕 09:00~12:30 A会場

[キーワード：物質循環Ⅱ, 大気力学 他]

司会：小泉耕(気象庁数値予報)

( )は講演者を表す。[M]=VHS使用予定)

### 一般口頭発表

- A201 岩崎俊樹(東北大理) 波動平均流相互作用とラグランジェ循環から見た大気のエネギーサイクル
- A202 阿部睦・向川均(北大院地球環境) 準地衡風2層βチャンネルモデルにおける帯状流変動
- A203 渡部雅浩・木本昌秀(東大気候システム) 中緯度大気-海洋系に働く正のフィードバック
- A204 見延庄士郎(北大院理/地球フロンティア) 北太平洋50年変動の季節依存性
- A205 中元美和・永島達也(東大気候システム)他1名 太陽活動11年周期変動と成層圏オゾン変化～大気大循環化学モデルによる研究～
- A206 久慈誠(奈良女子大理)・中島映至(東大気候システム) リモートセンシングデータによる雲の幾何学的物理量の推定
- A207 青木忠生・深堀正志(気象研)他1名 地上からの温室効果気体遠隔測定の精度
- A208 今須良一(資環研)・Vyacheslav Zakharov(ロシアエネギー技術研)他3名 IMG/ADEOSによる<sup>12</sup>CO<sub>2</sub>, <sup>13</sup>CO<sub>2</sub>, HD0の測定
- A209 入江仁士・小池真(名大STE研)他2名 1996-1997年北極冬季成層圏における硝酸の再分配
- A210 杉田考史・中島英彰(環境研)他3名 ILASにより測定されたオゾン、硝酸高度分布の衛星および気球観測との比較
- A211 村山利幸(東京商船大)・杉本伸夫(環境研)他10名 黄砂の地上ネットワーク観測

### ポスター発表

[概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演]

- P201 河鱒公昭(名大名譽教授)・岩坂泰信(名大STE研)他1名 成層圏・中間圏オゾンの経年変化
- P202 須藤健悟・高橋正明(東大気候システム)他1名 CCSR/NIES AGCMを用いた対流圏光化学モデリング：オゾン・関連気体の全球分布と対流圏オゾンの収支について
- P203 秋吉英治・菅田誠治(環境研)他5名 CCSR/NIES成層圏ナッジングCTMの開発
- P204 忠鉢繁(気象研) オゾンホール生成条件(成層圏気温と太陽高度角の関数として)
- P205 寺尾有希夫・田中博(筑波大地球科学)他2名 ILASデータによる1996/1997年冬期北極域の成層圏オゾン減少の評価[その3]～硝酸濃度の変化とオゾン減少の関係・手法の改良～
- P206 宮川幸治(高層気象台) 日本上空23kmにおける1998/99年冬から春の成層圏オゾンの減少
- P207 藤原正智(東大理)・高橋正明(東大気候システム) 成層圏・対流圏大気交換における赤道波の役割(2)
- P208 斎藤伸治(名大理)・永尾一平(名大大気水圏研)他1名 沿岸地域で観測されたオゾン濃度の日変化および季節変化
- P209 佐伯田鶴(東北大大型計算機セ)・中澤高清(北大院理)他1名 3次元大気輸送モデルによる大気中メタンの数値実験
- P210 石澤みさ(地球フロンティア)・中澤高清(北大院理)他3名 二酸化炭素濃度と炭素同位体比の同時解析による炭素収支の推定
- P211 近藤裕昭(資環研)・石田祐宣(弘前大)他2名 田代平窪地における二酸化炭素濃度変化
- P212 眞木貴史・加藤寿史(気象庁環境気象)他3名 3次元輸送モデルによる大気CO<sub>2</sub>濃度変動の解析(2)
- P213 山中勤(広島大)・嶋田純(熊本大)他1名 夏の関東平野におけるイベント降雨の安定同位体組成の時間的変動とその制御要因

- P214 蒲生稔・林正康(資環研)他4名 熱帯多雨林の二次林における二酸化炭素収支観測
- P215 李勝功・及川武久(筑波大生物科学) 筑波大学水理実験センターのC<sub>3</sub>/C<sub>4</sub>混生草原の熱収支とCO<sub>2</sub>フラックス
- P216 三枝信子・近藤裕昭(資環研)他2名 夜間のCO<sub>2</sub>フラックス観測に及ぼす斜面下降流の影響
- P217 安田幸生・渡辺力(森林総研)他3名 落葉広葉樹林上におけるCO<sub>2</sub>フラックスの長期連続観測
- P218 村山昌平(資環研)・Kaz Higuchi(カナダAES)他2名 北太平洋域における大気中CO<sub>2</sub>濃度の空間分布に対する大気輸送過程の影響について
- P219 澤庸介・松枝秀和(気象研)他7名 冬季北西太平洋上空における一酸化炭素及び二酸化炭素濃度観測
- P220 町田敏暢(環境研)・北和之(東大理)他3名 BIBLE-Aで観測された北半球中緯度から熱帯域にかけての大気中二酸化炭素濃度の空間分布
- P221 遠嶋康徳・S. Maksyutov(環境研)他2名 落石・波照間モニタリングステーションにおける大気中メタン濃度の連続観測
- P222 石戸谷重之・青木周司(東大理)他1名 大気中酸素濃度の高精度計測法の開発
- P223 渡井智則・中澤高清(東大理)他1名 北太平洋中西部における溶存無機炭素濃度と炭素同位体比の鉛直分布
- P224 津川元彦・富田浩文(地球フロンティア)他1名 高解像度大循環モデルの力学フレームワークの開発—一次世代気候モデルへ向けて(立方体格子)—
- P225 富田浩文・津川元彦(地球フロンティア)他1名 高解像度大循環モデルの力学フレームワークの開発—一次世代気候モデルへ向けて(正二十面体測地線格子)—
- P226 荒井美紀・向川均(北大院地球環境) ブロッキング現象の維持にはたす総観規模擾乱の役割
- P227 時長宏樹・田中博(筑波大地球科学) 北極振動(AO)にともなう極渦と傾圧不安定波の相互作用の研究
- P228 高橋憲義・余田成男(京大理) 中緯度対流圏ジェットの力学に関する数値実験
- P229 佐藤正樹(埼玉工大)・Zoltan Neufeld(DAMTP, Univ. of Cambridge) 対流圏中緯度のポテンシャル渦度の勾配
- P230 榎本剛・松田佳久(東大理)他1名 小笠原高気圧に伴う等価順圧構造の成因
- P231 宮腰紀之(新東京航空地方気象台) 高高度晴天乱気流予測・新INDEXの開発(2) —Severe Turbulence発生時の検証—
- P232 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) 晴天率に見られる特異性〜特異日は本当に存在するか?〜
- P233 上野義和(宇宙研) A Laboratory Model of a Martian Great Dust Storm **[M]**
- P234 北村祐二・松田佳久(東大理) 2層モデルによる回転球面上の乱流(2)
- P235 森厚(東京学芸大)・新野宏(東大海洋研) 水平対流の形成に関する理論的考察(補足) —境界条件と回転の効果について—
- P236 金久博忠(気象研) 鉛直循環を伴う定常軸対称渦の厳密解
- P237 中島健介・野津原昭二(九大理) 持続的固体地球自由振動の積雲による励起
- P238 高橋芳幸・藤原均(東大理)他4名 火星大気大循環の計算機シミュレーション: 子午面循環における地形の影響
- P239 高木征弘・松田佳久(東大理) 金星大気における熱潮汐波と運動量輸送(2)
- P240 西憲敬(京大理) BIBLE-B期間中の気象場解析
- P241 北田敏廣・西沢匡人(豊橋技科大エコロジー工)他3名 バイオマス燃焼起源の排出源分布に対するオゾン等生成の感度解析: 東南アジア・オーストラリア域
- P242 張代州(熊本県立大環境共生)・大橋鉄弥(名大STE研)他3名 中国チベットラサ市における大気エアロゾルの特徴: 1998年と1999年の夏の観測
- P243 安井元昭(通総研)・永井智広(気象研)他 日本-中国、風送ダストライダーネットワーク観測計画
- P244 清水厚・杉本伸夫(環境研)他1名 小型ミー散乱ライダーによる雲および対流圏エアロゾルの長期連続観測
- P245 佐藤佳宏(科学技術事業団)・中島英彰(環境研)他2名 フィルター補正逆投影法を用いたILASエアロゾルの算出

## 大会第2日〔5月25日〕 09:00~12:30 B会場

[キーワード: 降水システム I, 観測手法 他]

司会: 永戸久喜(気象研)

( ) は講演者を表す. [M]=VHS使用予定

### 一般口頭発表

- B201 大野裕一(通総研) 小金井のウィンドプロファイラで観測された鉛直風の日変化
- B202 岩崎博之・武藤ちあき(群馬大教育) 寒冷前線に伴うレインバンドの出現特性
- B203 小林文明・上野洋介(防大地球科学)他3名 1999年12月20日東尋坊で発生した竜巻(1) -地上被害のスケール-
- B204 野田暁・新野宏(東大海洋研) 小型のスーパーセルにおける下層のメソサイクロンの発達機構
- B205 篠田太郎・前坂剛(北大院理)他5名 二重偏波レーダーシステムによる降水粒子識別方法検討のための霰粒子地上観測
- B206 橋本明弘・播磨屋敏生(北大院理)他 対流雲の発達段階と雨滴粒径分布との関係
- B207 石丸中・遠峰菊郎(防大)他 老岐上空でのシーディング実験にともなう、積雲の形態変化
- B208 中田隆・木村龍治(東大海洋研)他1名 対流雲によって形成される大気鉛直微細構造
- B209 高山陽三(気象研) 異なるパルス繰り返し周波数によるレーダー二次エコーの検出・補正・利用
- B210 高谷美正(気象研) Bistatic Radar における速度の観測誤差評価
- B211 中井専人(防災科研) GMS上層雲出現頻度のSSM/I可降水量による差異

### ポスター発表

[概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演]

- P251 清野直子・斉藤和雄(気象研) MRI-NHMによる局地前線の数値実験(第2報)
- P252 円山憲一(地球フロンティア)・Lubomir Levkov(GKS S研)他1名 GESIMAによる巻雲の3次元数値シミュレーション
- P253 和田英子・橋口浩之(京大宙空電波)他3名 ミリ波ドップラーレーダーによる巻雲の観測
- P254 植松久久・橋口浩之(京大宙空電波)他4名 ミリ波ドップラーレーダーによる霧の観測
- P255 赤枝健治(気象研) 釧路における霧水量・霧の粒径分布と視程の関係
- P256 篠田太郎・上田博(北大院理) 数値実験を用いた孤立積乱雲中の霰の生成過程の解析~GAME/HUBEX'98 IOP中の7月14日のケースについて~
- P257 前坂剛・上田博(北大院理) GAME/HUBEX'98 IOPで観測された降水システムの反射強度と風の鉛直プロファイル
- P258 森真理子(高層気象台)・中村一(気象研) 1996年7月15日下館・つくばで発生したダウンバースト(III) -新東京航空地方気象台のドップラーレーダーによる雷雲の解析-
- P259 小林文明・稲富成子(防大地球科学)他 1999年7月21日首都圏に豪雨をもたらした積乱雲群 [M]
- P260 俣野明彦・三崎保(新東京航空地方気象台)他3名 1999年10月27日に千葉県で観測された対流雲群の構造 その1 強い乱気流を伴ったキャロット状エコーの構造
- P261 三崎保・宮腰紀之(新東京航空地方気象台)他3名 1999年10月27日に千葉県で観測された対流雲群の構造 その2 強いガストを伴った線状エコーの構造
- P262 岩橋昭裕(防大地球科学)・米山邦夫(JAMSTEC)他3名 宮古島沖で観測された梅雨前線上の擾乱
- P263 若月泰孝・武田喬男(名大大気水圏研) 梅雨前線帯のメソ $\alpha$ スケールクラウドクラスターとその周辺大気環境の特徴

- P264 柴垣佳明(大阪電通大)・手柴充博(京大宙空電波)他 S帯境界層レーダー観測による梅雨前線近傍の降水システムの構造
- P265 Takao Takeda・Li Zhuxiao(名大大気水圏研) Diurnal Variation of Cloud Features in Summer Season of 1998 in Yangtze River Basin
- P266 鈴木一志・石川裕彦(京大防災研) 停滞前線に伴う集中豪雨と乾燥貫入について(1998年8月下旬北関東集中豪雨の解析)
- P267 加藤輝之(気象研)・X-BAIU-99観測グループ 1999年6月29日福岡で豪雨をもたらした寒冷前線と下層ジェット強化機構。その2:前線を構成するメソ対流系と前線内の降水セルの発達高度
- P268 吉崎正憲・加藤輝之(気象研) 1998年梅雨期に九州西部で見られた地形性降水バンドの形成メカニズム
- P269 牛山朋来(地球フロンティア)・瀬古弘(気象研)他3名 1988年7月17日に九州北部で観測された降水系の数値実験 -現実的な降水系の再現のためのARPSによる実験-
- P270 手柴充博(京大宙空電波)・柴垣佳明(大阪電通大)他 温暖前線に伴う雲バンドの内部構造に関する研究
- P271 茂木耕作・上田博(北大院理)他 X-BAIU-99期間中に見られた2本の線状降水域が併合する降水システムの構造と発達過程
- P272 清水収司(NASDA/EORC) チベット高原那曲付近における夜間の層状性降水の構造と特性-ドップラレーダと客観解析との比較結果-
- P273 兒玉傑互(駒沢大院) 宮崎平野沿岸部の降水現象
- P274 高野功・高山大(気象研)他1名 「つくば域降雨観測実験」1999年2月11日の南岸低気圧の解析
- P275 藤部文昭(気象研)・新野宏(東大海洋研)他1名 1999年10月27日の低気圧に伴う関東地方東部の大雨(序報)
- P276 大谷寛(地質調査所) 1995年夏季南関東・東海地方におけるGPS可降水量の時空間変動
- P277 灘岡和夫・鹿島正彦(東工大)他2名 首都圏におけるGPS可降水量と降雨の変動特性
- P278 新村典子(筑波大水利セ)・佐々木太一(筑波大地球科学)他1名 GPS可降水量と降水の統計的關係
- P279 瀬古弘(気象研) SINEXデータから推定したGPS可降水量と降水量の關係
- P280 小司禎教・中村一(気象研) GPSによる局地的豪雨時の可降水量、及び水蒸気のスケールハイトの解析
- P281 二木明紀・小司禎教(気象研)他3名 GPS気象観測装置気圧導入口の改良と計測精度の向上
- P282 橋本徹・廣田道夫(気象大)他2名 直達日射量から求める大気混濁度の改良に関する研究
- P283 杉田明子・三宅幸博(フランクリン・ジャパン) 全日本雷観測網(JLDN: Japan Lightning Detection Network)の構築と観測例
- P284 山内恭・平沢尚彦(極地研/総研大)他2名 南極ドームふじ観測拠点における衛星-地上雲観測比較
- P285 別所康太郎・田中恵信(気象研) TRMM・PRデータを用いた台風域内におけるNDの検証
- P286 岩崎杉紀(神戸大自然)・岡本創(通総研)他1名 Lidarによる雲観測とその解析アルゴリズム
- P287 江淵直人(東北大理) QSCAT/SeaWinds マイクロ波散乱計の初期データの精度評価
- P288 今岡啓治・可知美佐子(NASDA)他6名 AMSR/AMSR-E 検証(可降水量・雲水量)のための地上設置型マイクロ波放射計観測
- P289 熊谷博・堀江宏昭(通総研)他4名 95GHz雲レーダとマイクロ波放射計の同時観測
- P290 橋口浩之・森谷優貴(京大宙空電波)他4名 LTR/RASの開発とその初期観測結果
- P291 山田芳則(気象庁数値予報) 多仰角VAD観測に基づくデュアルドップラレーダデータ解析へのMUSCAT法の応用:基本的な方法との比較:数値実験
- P292 Qinfeng Cao・深尾昌一郎(京大宙空電波)他2名 Deriving Raindrop Distribution from VHF Doppler Radar using Least Square Fitting Method
- P293 田中恵信(気象研)・鈴木修(気象庁) レーダー解析ソフト"Draft"の開発
- P294 浜津享助(三菱電機/京大)・松田知也(三菱電機)他5名 ボリュームグラフィックスを用いた雲霧レーダー情報の三次元表現
- P295 大塚彰(農研セ)・小林茂樹(NASDA)他2名 ローカルな水蒸気分布:NHMと干渉SARとの比較

## 大会第3日〔5月26日〕 09:00~12:30 A会場

〔キーワード：大気境界層，気候システムⅡ 他〕

司会：平沢尚彦(極地研)

(~~~~は講演者を表す)

### 一般口頭発表

- A301 谷貝勇・折戸光太郎(防災科研)他3名 GCMシミュレーションとECMWF再解析データによる日変化から年々変動までの全球水収支について その3 積分された領域における降水の日変化と「地球の脈拍」のおこるメカニズム
- A302 栗原和夫(気象庁エルニーニョ監視予報セ) 4.5年周期で赤道を東進する西風偏差域とインドの降雨について
- A303 竹見哲也・森脇嘉一(大阪大院工) 対流活動抑制期の西太平洋赤道域における混合層内の水蒸気変動
- A304 植田宏昭(気象研) 赤道インド洋におけるSeasonal RegulationとENSOシグナルのカップリング機構
- A305 川村隆一(富山大理)・松浦知徳(防災科研)他1名 夏季アジアモンスーンとENSOのカップリングのメカニズム(3) 一異なる2種類のENSOインパクト
- A306 篠田雅人・宇津木博之(都立大理)他1名 ユーラシア大陸における消雪時期の変動とその気温場への影響
- A307 大久保玲子・山崎剛(東北大院理) 降雪遮断の気象学的な影響に関するモデル計算
- A308 楠昌司・杉正人(気象研)他3名 大気の子節予測可能性実験における土壌水分の年々変動
- A309 Matli P. I.・Aoki M. (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)他4名 Analysis of canopy photosynthetic response of beet fields under global warming in Hokkaido
- A310 川村賢二・青木周司(東北大院理)他5名 南極ドームふじおよびH72地点でのフィルンにおける空気成分の鉛直分布
- A311 中澤高清・川村賢二(東北大院理)他2名 南極ドームふじコアに含まれる空気中のN<sub>2</sub>の安定同位体比

### ポスター発表

〔概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演〕

- P301 根本学・篠田雅人(都立大)他1名 草地における地表面温度の不均一と赤外放射量測定の代表性について
- P302 下山宏(名大大気水圏研)・井上元(環境研)他2名 西シベリア湿地帯における熱収支長期観測
- P303 中村崇志・安田延壽(東北大理)他1名 晴天日の陸面大気境界層における水蒸気量の日変化と鉛直輸送
- P304 狩野真規・飯島慈裕(都立大院) 谷中及び谷口周辺での山風の発達過程
- P305 飯島慈裕・篠田雅人(都立大理) 下向き大気放射量の観測による八ヶ岳山岳・山麓地域の夜間冷却現象の比較
- P306 福田和代・松永信博(九大総理工)他1名 海風フロント侵入直後における風速の周期変動
- P307 小川智・余偉明(東北大理)他1名 海風フロントと陸上混合層中の熱対流との相互作用に関する数値実験
- P308 上村暁寛・菅原広史(防大地球科学)他 冬季季節風時に関東平野に形成された局地前線
- P309 柴田美樹子・清水孝一(工学院大)他2名 名古屋周辺におけるヒートアイランドの解析
- P310 酒井聡一郎・福田和代(九大総理工)他1名 大気境界層内の対流混合過程にみられる周期的変動
- P311 佐々木佳明・菊地勝弘(秋田県立大)他2名 秋田周辺の対流境界層のドップラーソナー観測(その1)
- P312 穂積祐(京大理)・植田洋匡(京大防災研) MUレーダーによる混合層付近の構造の解析
- P313 荒川正一・大河内紀子(東京家政大環境情報)他2名 ランドサットが捉えた富士山の吊し雲
- P314 山崎充・遠峰菊郎(防大地球科学)他2名 相模灘上に形成された冷気層の解析



- P315 木下正博(富山大院教育)・市瀬和義(富山大教育) 富山湾における盛夏風の発生理由～気温の垂直分布が示す新たな事実～
- P316 遠藤伸彦(地球フロンティア) 中国高層気象観測データと4DDAデータセットの比較
- P317 伍培明(地球観測フロンティア)・木村富士男(筑波大)他3名 タイ北部(Chiang Mai)における可降水量の日変化
- P318 菊池文孝・山中大学(神大自然)他2名 インドシナ半島における対流圏大気の季節・経年変動
- P319 李越豪・安成哲三(筑波大地球化学) 初夏西太平洋モンスーン最盛期の気象構造
- P320 宮崎保彦(気象衛星センター) 9・10・11月の月平均WV-TBBの特徴
- P321 田中実(気象研) アジアモンスーンとEL NINOの10年スケールの関係
- P322 河谷芳雄・高橋正明(東大気候システム) 高分解能(T106)AGCMによる梅雨前線の再現実験Ⅱ
- P323 釜掘弘隆・山崎信雄(気象研)他7名 気象庁全球同化システムによるGAME再解析(第2報)
- P324 川村隆一・福田祐一郎(富山大理)他3名 オーストラリアモンスーンのオンセットのメカニズムーモンスーンの新しい概念モデルの構築ー
- P325 行本誠史(気象研) ENSOの変調ーエルニーニョの大きさをさめるものー
- P326 山口和貴(東京電力)・野田彰(気象研)他1名 温暖化に伴う永久凍土帯の変化ー多層土壌モデルによる予測ー
- P327 阿部学・安成哲三(筑波大地球科学)他1名 気象研究所大気海洋結合モデルにおける夏季アジアモンスーンの開始と対流活動の急激な北上
- P328 加藤史之・平口博丸(電中研)他5名 地球温暖化に伴う東アジア地域の気候変化予測(5) 気温、降水量変化の季節特性
- P329 尾瀬智昭(気象研) 雲水・雲氷・雪を予報変数としたモデルによる温暖化相当実験
- P330 小木雅世(北大低温研)・立花義裕(東海大文明研)他3名 オホーツク海の海水とアムール川による河川水流入との関係
- P331 小寺邦彦(気象研) 全球変動におけるシベリアの役割
- P332 早崎将光・田中博(筑波大地球科学) シベリア地域における寒候期の短周期気温変動の気候学的研究
- P333 平沢尚彦(極地研)・中村尚(東大/地球フロンティア)他1名 ロスビー波の伝播条件からみた東南極域のブロッキング
- P334 高原宏明・松本淳(東大理)他1名 冬型気圧配置時の屋久島の降水特性
- P335 坂本雅巳・東克彦(岡山地方気象台)他1名 地上・高層観測データから作成したクラスターと天気図型の対応
- P336 菅野洋光・徐健青(東北農試)他1名 ドップラーソナーを用いて観測した東北地方太平洋岸における海風の季節変化
- P337 坂元尚美(京大総合博物館)・岩瀬康行(広島大理)他1名 古気候解析データベースによる古気候復元にむけて
- P338 吉村裕正(気象研) 面積重みを考慮したパリマックス基準による回転EOF, 回転SVDの求め方
- P339 加藤美雄(気象庁予報) 北海道周辺を通過する低気圧の統計的特性
- P340 長谷川駿・田中博(筑波大地球科学) 正規直交ウェーブレットを用いた太平洋ブロッキングのエネルギー解析
- P341 Geng Quanzhen(FRSGC)・杉正人(気象研)他1名 Cyclone Activities in the Northern Hemisphere Analyzed from the NCEP Reanalysis Data and Simulated in a High-resolution AGCM
- P342 渡来靖・田中博(筑波大地球科学) ブロッキングの形成期における順圧-傾圧相互作用の振舞い
- P343 伊藤明・田中博(筑波大地球科学) ブロッキングの順圧成分に対する外力の解析的研究
- P344 吉田駿・遊馬芳雄(北大院理) 日本付近で急激に発達する低気圧の発達要因
- P345 棚橋修一(富士通)・川村宏(東北大院理)他2名 GMS衛星搭載VISSRを用いた海洋における海面水温日変化に関する研究

## 大会第3日〔5月26日〕 09:00~12:30 B会場

[キーワード：降水システムⅡ, 相互作用 他]

司会：西森基貴(筑波大地球科学)

(~~~~は講演者を表す)

### 一般口頭発表

- B301 平原洋一・水野量(気象大) 日本列島における強雨発生予測に対する各種指数の有効度
- B302 西垣語人(気象庁予報) エントレインメントによる混合の効果を取り入れて修正したSSIによる発雷予測の検証
- B303 郷田治稔・榊原茂記(気象庁数値予報) X-BAIU99観測データの数値予報へのインパクト
- B304 石田純一・郷田治稔(気象庁数値予報)他2名 気象庁メソスケールモデルにおけるACARSデータのインパクトについて
- B305 斎藤和雄・加藤輝之(気象研)他4名 雲解像非静力学モデルの並列化(2)
- B306 田中博・野原大輔(筑波大地球科学)他2名 順圧S-モデルによる現実大気の前報実験ーパーフェクトモデル実験とSSTモデルの開発ー
- B307 渡辺知弘・大島慶一郎(北大低温研)他1名 オホーツク海の表面熱収支
- B308 猪上淳・川島正行(北大低温研) オホーツク海南西部で再変質する寒気の熱・運動エネルギー収支
- B309 山本哲(気象研) 霧による視程不良害発生の気候学的特徴(2) 海難審判裁決録により調べた海難の特徴
- B310 山本哲・赤枝健治(気象研) 釧路空港の霧の統計的特徴(2) 空港気象常時監視通報装置データによる調査
- B311 千葉晃(亜細亜大教養) 1999年12月22日に南西諸島で記録された低温現象
- B312 森田正光(ウェザーマップ)・久保田尚之(地球観測フロンティア) 首都圏での気温の1週間サイクル

### ポスター発表

[概要紹介(1件1分以内)の後、ポスター会場で講演]

- P351 瀬古弘(気象研) 1996年7月7日に南九州で組織化された2つのタイプのメソβスケールの降水帯と簡単化した数値実験
- P352 手柴充博(京大宙空電波)・柴垣佳明(大阪電通大)他境界層レーダーを用いた中間規模低気圧に伴う中小規模擾乱の研究(2)
- P353 広瀬正史・中村健治(名大大気水圏研)他1名 衛星搭載降雨レーダによるアジア域の降雨構造と大気加熱量導出の試み
- P354 石塚昌範(弘前大院理)・児玉安正(弘前大理工) TRMMとGMSデータによるにんじん状雲の解析
- P355 高萩縁(環境研) TRMM PRデータによる熱帯降雨の地域特性と日変化特性の解析
- P356 中井専人(防災科研)・高萩縁(環境研) 西部太平洋域に見られたTRMM降水強度鉛直分布の特性
- P357 中澤哲夫(気象研)・可知美佐子(NASDA/EORC) TRMM準リアルタイムデータ処理について
- P358 森一正・前平岳男(気象庁海上気象)他3名 西部熱帯太平洋における低緯度低圧部周辺域のMCSの構造
- P359 渡辺明(福島大教育)・岩崎博之(群馬大教育)他2名 熱帯低気圧に伴う雲バンドの構造について
- P360 吉野純・石川裕彦(京大防災研)他2名 愛知県豊橋市において竜巻をもたらした台風9918号の数値実験
- P361 歌麿・坪木和久(名大大気水圏研)他1名 1999年9月24日東海地方で観測された竜巻をもたらす積乱雲の構造
- P362 坪木和久(名大大気水圏研)・榊原篤志(高度情報科学技術研究機構)他1名 スーパーセル内部に発生した竜巻の数値シミュレーション
- P363 脇水健次・鈴木義則(九大農)他2名 1999年6月29日福岡豪雨を伴った竜巻の発生
- P364 小林文明・上野洋介(防大地球科学)他1名 1999年12月20日東尋坊で発生した竜巻(2)ー竜巻渦のドップラーレーダー観測ー

- P365 石川裕彦・林泰一(京大防災研)他3名 9月24日の東三河地方の竜巻にみられた複合渦
- P366 山田広幸・上田博(北大院理)他2名 降雪雲を構成する対流セルの発達に違いをもたらす要因
- P367 山田芳則(気象庁数値予報)・村上正隆(気象研) リトリーバルから推定された微物理構造と飛行機による直接観測との比較 -浅いバンド状降雪雲-
- P368 星本みづほ・村上正隆(気象研)他 上層トラフ通過に伴う地形性降雪雲の内部構造の変化
- P369 植村八郎・三宅幸博(フランクリン・ジャパン) 関東北部で発生した落雷の解析
- P370 吉橋幸子・河崎善一郎(大阪大院)他3名 寒気移流と冬季雷活動に関する一考察
- P371 柴村孝嗣・小林文明(防大地球科学)他2名 冬季北陸地方におけるバンド状エコーの構造と放電路の進展様相
- P372 田口晶彦・奥山和彦(気象協会)他2名 発雷の大気環境 -関東地方における発雷・無発雷日の比較(2)-
- P373 岩崎博之・三木貴博(群馬大教育) 半盆地域における水蒸気変動が積乱雲の発達過程に及ぼす影響
- P374 岩崎博之・石原崇江(群馬大教育)他3名 半盆地域における可降水量の日変化のメカニズム
- P375 本谷研・山崎剛(東北大理)他1名 東北日本における水文学(積雪・融雪・流出)の時空間分布と気象要素変動に対する応答
- P376 山口叔史・篠田雅人(都立大地理)他1名 半乾燥地域において土壌水分が気温に及ぼす影響
- P377 日下博幸(電中研)・近藤裕昭(資環研)他3名 都市の地表面スキームの相互比較
- P378 真嶋剣・安田延壽(東北大理) NOAA衛星を用いた都市域の大気・陸面熱交換の研究
- P379 岡田格(科学技術振興事業団/千葉大)・花田和(千葉大理)他2名 静止気象衛星データから得られた地表面温度の長期変動(1)
- P380 永井晴康・山澤弘実(原研)他5名 大気-土壌-植生モデルの開発(II) -植生層放射伝達と気孔抵抗計算の改良-
- P381 伊藤昭彦・及川武久(筑波大生物科学) 陸上生態系モデルを用いた1958-1998年の炭素収支の解析:1998年の最大負アノマリーの考察
- P382 戸田求・大手信人(京大院農)他1名 熱帯モンスーン地域・複雑地表面上での年間総蒸発散量と群落コンダクタンスの推定
- P383 渡辺力(森林総研)・横沢正幸(農環研)他3名 陸上植生動態-気候間の相互作用のモデル化
- P384 梶川義幸・安成哲三(筑波大地球科学) 西部熱帯太平洋の対流活動とインド洋東西振動の関係について
- P385 高橋駿司・鍋倉誠(岡山大理)他6名 西太平洋赤道域における海面フラックスの測定 -NAURU99みらい航海-
- P386 橋爪寛・竹内謙介(北大低温研)他 東部太平洋の海洋赤道不安定波に対応する大気変動~1999年9月「照洋丸」ゾンデ観測~
- P387 馬場賢治・若土正暁(北大低温研) 南極海氷縁域の大気と海水の変動特性
- P388 青山雄一(総合研究大院)・内藤勲夫(国立天文台) 非極軸モードの大気・固体地球系の角運動量交換~大気変動によるチャンドラーウォブルの励起の実証~
- P389 小高正嗣(東大数理)・中島健介(九大理)他2名 火星大気放射対流の数値計算:鉛直1次元モデルとの比較
- P390 林寛生・塩谷雅人(北大院地球環境) ロケット観測による水平風データに見られる慣性不安定
- P391 萩野慎也(京大宙空電波)・山中大学(神大自然)他5名 タイ国下部成層圏における波動特性(3):波の構造
- P392 岩井邦中(信州大教育) トリチェリーの実験を水でしよう
- P393 坪田幸政(慶應義塾高) 大学の教養教育としての気象学演習
- P394 平松和彦(北海道旭川西高) OHPシートによる雪結晶レプリカの活用
- P395 豊田英司(東大数理)・石渡正樹(北大地球環境)他 多次元数値データの自己記述的格納形式gt0014の開発

## 大会第3日〔5月26日〕 13:30~17:00

## 専門分科会

( )は講演者を表す。[S]=スライド使用予定)

## A会場

## 「エアロゾルの気候影響について」

## I. GCMにおける雲・エアロゾル

13:30-14:45

座長：神沢博(環境研)

- A351 柴田清孝・前田修平(気象研)他1名 気象研究所気候モデルにおける硫酸エアロゾルの温暖化抑制効果
- A352 野沢徹・江守正多(環境研)他5名 大気海洋結合モデルによる将来の気候変化見通し実験における対流圏エアロゾルの気候影響
- A353 竹村俊彦・中島映至(東大気候システム)他2名 全球3次元エアロゾルモデル - (3) 全球分布と放射強制力
- A354 久芳奈遠美(地球フロンティア)・岩淵弘信(東北大) 人為起源エアロゾルが層雲の光学的性質に及ぼす影響
- A355 鈴木健太郎(東大気候システム)・沼口敦(北大地球環境)他3名 エアロゾル間接効果の大気大循環モデリング

## II. 衛星データ解析

14:45-15:30

座長：中島孝(NASDA)

- A356 日暮明子(環境研)・白井崇行(東大気候システム)他1名 衛星リモートセンシングによるエアロゾル研究
- A357 増田一彦・佐々木政幸(気象研)他2名 衛星からの偏光・多方向観測による海洋上エアロゾルの光学特性の推定
- A358 岡田格(科学技術振興事業団/千葉大)・高森緑(環境研)他7名 GMS-5から推定した日射量と地上観測値の比較

## III. 航空機・船・地上観測

15:30-16:35

座長：高村民雄(千葉大CEReS)

- A359 浅野正二・谷園雅代(東北大)他2名 エアロゾルが層積雲の放射特性に及ぼす効果: JACCS航空機観測による事例解析
- A360 岡本創(通総研)・岩崎杉紀(神大院自然)他4名 雲レーダ, ライダ, マイクロ波放射計による雲同時観測 - エアロゾルの間接効果解明にむけて
- A361 杉本伸夫・松井一郎(環境研)他2名 ライダーによる海洋性エアロゾルの分布と光学特性の観測
- A362 財前祐二・池上三和子(気象研)他4名 冬季北太平洋域上空におけるエアロゾル粒子濃度と硫酸粒子発生について
- A363 甲斐憲次(名大人間情報)・鈴木淳(名大情報文化)他2名 伊勢湾-濃尾平野系におけるエアロゾルの動態に関する研究

## IV. 総合討論

16:35-16:55

座長：中島映至(東大気候システム)

**B会場**  
**「フラックス観測ネットワーク：  
 Asia Fluxと陸域生態系における炭素・水収支研究プロジェクト」**

13:30-15:00

座長：山本晋(資環研)

- B351 福島義宏(名大大気水圏研) AsiaFlux構築の意義と課題
- B352 近藤昭彦(千葉大CEReS)・樋口篤志(名大大気水圏研) 衛星観測による可視・近赤外の分光反射輝度と蒸発散量の関係
- B353 油大幹・虫明功臣(東大生産研)他2名 陸面水文植生モデルへの熱帯水田でのフラックス観測成果の活用
- B354 山形与志樹(環境研) 京都議定書の吸収源条項に関するIPCC特別報告書の検討結果 - 吸収源モニタリングにおけるフラックスネットの役割

15:00-15:10 休憩

15:10-16:00

座長：文字信貴(大阪府立大)

- B355 小池孝良・日浦勉(北大演習林)他2名 大気境界層としての森林樹冠の光合成機能-落葉広葉樹林を例として-  
[S]
- B356 田中広樹(京大院)・檜山哲哉(名大大気水圏研)他2名 北方落葉樹林の光合成特性の季節変化に関する樹冠単層モデルを用いた解析-シベリアタイガ・カラマツ林のフラックスデータを用いて-
- B357 下山宏(名大大気水圏研)・井上元(環境研)他2名 西シベリア湿地帯におけるCO<sub>2</sub>フラックスの季節変化
- B358 中井裕一郎・北村兼三(森林総研北海道)他4名 森林総研FluxNetにおける北方系落葉広葉樹林のフラックス観測 [S]

16:00-17:00

座長：原蘭芳信(農環研)

- B359 大谷義一・溝口康子(森林総研)他3名 森林総研FluxNetによるCO<sub>2</sub>フラックス観測 - 温帯常緑針葉樹林サイト(富士吉田森林気象試験地) -
- B360 青木正敏・永吉信二郎(東京農工大)他6名 タイ国GAME-Tropics水蒸気フラックス観測結果 - 蒸発散量と気孔抵抗やその他の植生パラメータとの結合 -
- B361 宮崎真(筑波大地球科学)・GAME-Tibet BL Group他 チベット, モンゴルでの地表面熱収支の不均衡
- B362 高菱出(気象研)・石川裕彦(京大防災研) GAME/TibetIOP98データを用いた1次元陸面水文過程モデルの実行

総括質問(時間があれば)

講演者索引

< A >

Abe Ma. (阿部学).....P327
Abe Mu. (阿部睦).....A202
Adzuhata T. (預幡哲也).....P148
Akaeda K. (赤枝健治).....P255
Akiyoshi H. (秋吉英治).....P203
Aoki M. (青木正敏).....B360
Aoki Ta. (青木忠生).....A207
Aoki Te. (青木輝夫).....P195
Aonashi K. (青梨和正).....P131
Aoyama Y. (青山雄一).....P388
Arai M. (荒井美紀).....P226
Arakawa S. (荒川正一).....P313
Asano S. (浅野正二).....A359

< B >

Baba K. (馬場賢治).....P387
Bessho K. (別所康太郎).....P285

< C >

Cao Q. ....P292
Chiba A. (千葉晃).....B311
Chubachi S. (忠鉢繁).....P204
Chuda T. (中田隆).....B208

< E >

Ebuchi N. (江淵直人).....P287
Eguchi N. (江口菜穂).....B103
Endo N. (遠藤伸彦).....P316
Enomoto T. (榎本剛).....P230

< F >

Fujibe F. (藤部文昭).....P275
Fujiwara M. (藤原正智).....P123
.....P207
Fukabori M. (深堀正志).....P190
Fukuda K. (福田和代).....P306
Fukushima Y. (福島義宏).....B351
Fukutomi Y. (福富慶樹).....P157

< G >

Gamo M. (蒲生稔).....P173
.....P214
Geng B. (耿驥).....P361
Geng Q. ....P341
Goda H. (郷田治稔).....B303

< H >

Hamazu K. (浜津享助).....P294
Hara K. (原圭一郎).....P117
Hara M. (原昌弘).....P132
Hara T. (原壮史).....P112
Hasegawa A. (長谷川聡).....P340
Hashiguchi H. (橋口浩之).....P290
Hashimoto A. (橋本明弘).....B206
Hashimoto T. (橋本徹).....P282
Hashizume H. (橋爪寛).....P386
Hattori M. (武田番男).....P154
Hayasaki M. (早崎将光).....P332
Hayashi H. (林寛生).....P390
Hayashi K. (林和彦).....P110
Higurashi A. (日暮明子).....A356
Hirahara Y. (平原洋一).....B301
Hiramatsu K. (平松和彦).....P394
Hirasawa N. (平沢尚彦).....P333
Hirooka T. (廣岡俊彦).....B114
Hirose M. (広瀬正史).....P353
Horikawa M. (堀川真理子).....P120
Hoshimoto M. (星本みずほ).....P368
Hozumi Y. (穂積祐).....P312

Hurukawa J. (古川淳一).....P140

< I >

Ichiki A. (一木明紀).....P281
Igarashi H. (五十嵐弘道).....P162
Iijima Y. (飯島慈裕).....P305
Ikegami M. (池上三和子).....P113
Imaoka K. (今岡啓治).....P288
Imasu R. (今須良一).....A208
Inatomi N. (稲富成子).....P259
Inomata Y. (猪股弥生).....P105
Inoue J. (猪上淳).....B308
Inoue T. (井上豊志郎).....P175
Irie H. (入江仁士).....A209
Ishida J. (石田純一).....B304
Ishidoya S. (石戸谷重之).....P222
Ishii H. (石井宏明).....P143
Ishikawa Y. (石川宜広).....P125
Ishimaru A. (石丸中).....B207
Ishimoto H. (石元裕史).....P192
Ishizaki M. (石崎真弓).....P196
Ishizawa M. (石澤みさ).....P210
Ishizuka M. (石塚昌範).....P354
Isikawa H. (石川裕彦).....P365
Itano T. (板野稔久).....P184
Ito A. (伊藤昭彦).....P381
Itoh A. (伊藤明).....P343
Iwabuchi H. (岩渕弘信).....P191
Iwahashi A. (岩橋昭裕).....P262
Iwai K. (岩井邦中).....P392
Iwasa Y. (岩朝美晴).....P193
Iwasaki H. (岩崎博之).....B202
.....P374
Iwasaki S. (岩崎杉紀).....P286
Iwasaki T. (岩崎俊樹).....A201
.....B116

< J >

Joukou M. (上甲実).....P137

< K >

Kachi M. (可知美佐子).....P135
Kadokura S. (門倉真二).....P134
Kai K. (甲斐憲次).....A363
Kajii Y. (梶井克純).....A109
Kajikawa Y. (梶川義幸).....P384
Kajiwara M. (梶原誠).....P164
Kamahori H. (釜堀弘隆).....P323
Kanazawa A. (金澤明浩).....P146
Kanehisa H. (金久博忠).....P236
Kanno H. (菅野洋光).....P336
Kanou M. (狩野真規).....P304
Kashima M. (鹿島正彦).....P277
Kato H. (加藤央之).....P328
Kato K. (加藤内蔵進).....P152
Kato T. (加藤輝之).....P267
Kato Y. (加藤美雄).....P339
Kawabata K. (河端公昭).....P201
Kawamura K. (川村賢二).....A310
.....A311
Kawamura R. (川村隆一).....A305
.....P324
Kawatani Y. (河谷芳雄).....P322
Kido M. (木戸瑞佳).....P106
Kikuchi F. (菊池文孝).....P318
Kikuti K. (菊地一佳).....P176
Kim Yoon-Suk.....P119
Kimura R. (木村玲二).....P138
Kinoshita M. (木下正博).....P315
Kita K. (北和之).....A102

Kitabatake N. (北畠尚子).....P183
Kitada T. (北田敏廣).....P241
Kitamura Y. (北村祐二).....P234
Kobayashi F. (小林文明).....B203
Kodama H. (児玉傑彦).....P273
Kodera K. (小寺邦彦).....P331
Koike M. (小池真).....A104
Koike T. (小池孝良).....B355
Kondo H. (近藤裕昭).....P211
Kondo Y. (近藤豊).....A101
Kondoh A. (近藤昭彦).....B352
Kuba N. (久芳奈遠美).....A354
Kuji M. (久慈誠).....A206
Kumagai H. (熊谷博).....P289
Kurihara K. (栗原和夫).....A302
Kuroda Y. (黒田友二).....B112
Kusaka H. (日下博幸).....P377
Kusunoki S. (楠昌司).....A308
Kuwaitata T. (桑形恒男).....P159
Kuwahara T. (栗原徹也).....B106

< L >

Li S. (李勝功).....P215
Li Y. (李越豪).....P319
Li Z. ....P265

< M >

Mabuchi K. (馬淵和雄).....P172
Machida T. (町田敏暢).....P220
Maesaka T. (前坂剛).....P257
Majima K. (真嶋劍).....P378
Maki T. (真木貴史).....P212
Makino Y. (牧野行雄).....P114
Mano Y. (真野裕三).....P194
Maruyama K. (円山憲一).....P252
Mashiko W. (益子涉).....P187
Masuda K. (増田一彦).....A357
Matano A. (俣野明彦).....P260
Matli P. ....A309
Matsueda H. (松枝秀和).....A106
Matsumoto T. (松本健).....P144
Miki T. (三木貴博).....P373
Minobe S. (見延庄士郎).....A204
Misaki T. (三崎保).....P261
Miura K. (三浦和彦).....P111
Miyagawa K. (宮川幸治).....P206
Miyahara S. (宮原三郎).....B101
Miyakoshi N. (宮腰紀之).....P231
Miyazaki S. (宮崎真).....B361
Miyazaki Ya. (宮崎保彦).....P320
Miyazaki Yu. (宮崎雄三).....P141
Mochizuki T. (望月崇).....P161
Mori A. (森厚).....P235
Mori K. (森一正).....P358
Mori M. (森真理子).....P258
Morita M. (森田正光).....B312
Moteki K. (茂木耕作).....P271
Motoya K. (本谷研).....P375
Murakami S. (村上茂教).....P169
Murata F. (村田文絵).....P181
Murayama S. (村山昌平).....P218
Murayama T. (村山利幸).....A211
Muroi C. (室井ちあし).....P124

## 講演者索引

- < N >
- Nagahama T. (長浜智生) ..... B105  
 Nagai H. (永井晴康) ..... P380  
 Nagata M. (永田雅) ..... P129  
 Naito Y. (内藤陽子) ..... B111  
 Nakai S. (中井専人) ..... B211  
 ..... P356  
 Nakai Y. (中井裕一郎) ..... B358  
 Nakajima H. (中島英彰) ..... B104  
 Nakajima K. (中島健介) ..... P237  
 Nakajima T. (中島孝) ..... P197  
 Nakamoto M. (中元美和) ..... A205  
 Nakamura T. (中村崇志) ..... P303  
 Nakane H. (中根英昭) ..... B109  
 Nakazawa T. (中澤哲夫) ..... P185  
 ..... P357  
 Nasuno T. (那須野智江) ..... P186  
 Nemoto M. (根本学) ..... P301  
 Niimura N. (新村典子) ..... P278  
 Niisoe T. (新添多聞) ..... P101  
 Nishi N. (西憲敬) ..... P240  
 Nishigaki T. (西垣語人) ..... B302  
 Nishimori M. (西森基貴) ..... P168  
 Nishita C. (西田千春) ..... P107  
 Nishizawa K. (西澤慶一) ..... P167  
 Noda A. (野田暁) ..... B204  
 Nohara D. (野原大輔) ..... P133  
 Nomura C. (野村千尋) ..... P160  
 Nozawa T. (野沢徹) ..... A352
- < O >
- Odaka M. (小高正嗣) ..... P389  
 Ogawa S. (小川智) ..... P307  
 Ogi M. (小木雅世) ..... P330  
 Ogino S. (荻野慎也) ..... P391  
 Ohfuchi W. (大淵濟) ..... P174  
 Ohno Y. (大野裕一) ..... B201  
 Ohtani R. (大谷竜) ..... P276  
 Ohtani Y. (大谷義一) ..... B359  
 Okada I. (岡田格) ..... A358  
 ..... P379  
 Okada K. (岡田菊夫) ..... A108  
 Okamoto H. (岡本創) ..... A360  
 Okamoto K. (岡本幸三) ..... P127  
 Okamoto N. (岡本典子) ..... P178  
 Oki T. (沖大幹) ..... B353  
 Oku Y. (奥勇一郎) ..... P179  
 Okuda T. (奥田俊樹) ..... P177  
 Osada K. (長田和雄) ..... P108  
 Osawa T. (大澤輝夫) ..... P151  
 Ose T. (尾瀬智昭) ..... P329  
 Otuka A. (大塚彰) ..... P295  
 Owada H. (大和田春樹) ..... P153
- < S >
- Saeki T. (佐伯田鶴) ..... P209  
 Saigusa N. (三枝信子) ..... P216  
 Saito K. (齊藤和雄) ..... B305  
 Saito N. (齋藤尚子) ..... P121  
 Saito S. (齊藤伸治) ..... P208  
 Sakai S. (酒井聡一郎) ..... P310  
 Sakamoto M. (坂本雅巳) ..... P335  
 Sakamoto N. (坂元尚美) ..... P337  
 Sasaki Y. (佐々木佳明) ..... P311  
 Sato N. (佐藤尚毅) ..... P232  
 Sato T. (佐藤朋子) ..... P165  
 Sato Y. (佐藤佳宏) ..... P245  
 Satoh M. (佐藤正樹) ..... P229  
 Satutani T. (薩谷泰資) ..... P139  
 Sawa Y. (澤庸介) ..... P219
- Seino N. (清野直子) ..... P251  
 Seko H. (瀬古弘) ..... P279  
 ..... P351  
 Shibagaki Y. (柴垣佳明) ..... P264  
 Shibata K. (柴田清孝) ..... A351  
 Shibata M. (柴田美樹子) ..... P309  
 Shimada A. (島田明男) ..... P147  
 Shimizu A. (清水厚) ..... P244  
 Shimizu S. (清水収司) ..... P272  
 Shimoyama K. (下山宏) ..... B357  
 ..... P302  
 Shimura T. (紫村孝嗣) ..... P371  
 Shinoda M. (篠田雅人) ..... A306  
 Shinoda T. (篠田太郎) ..... B205  
 ..... P256  
 Shiobara M. (塩原匡貴) ..... P109  
 Shiotani M. (塩谷雅人) ..... B102  
 Shirai T. (白井知子) ..... A105  
 Shiraishi M. (白石将) ..... P136  
 Shoji Y. (小司禎教) ..... P280  
 Sudo K. (須藤健悟) ..... A103  
 ..... P202  
 Sugi M. (杉正人) ..... P130  
 Sugimoto N. (杉本伸夫) ..... A361  
 ..... P189  
 Sugita A. (杉田明子) ..... P283  
 Sugita T. (杉田考史) ..... A210  
 Suzuki Ka. (鈴木一志) ..... P266  
 Suzuki Ke. (鈴木健太郎) ..... A355  
 ..... P103
- < T >
- Tada H. (多田英夫) ..... P128  
 Taguchi A. (田口晶彦) ..... P372  
 Takagi M. (高木征弘) ..... P239  
 Takahara H. (高原宏明) ..... P334  
 Takahashi M. (高橋正明) ..... B107  
 Takahashi N. (高橋憲義) ..... P228  
 Takahashi S. (高橋聡司) ..... P385  
 Takahashi Y. (高橋芳幸) ..... P238  
 Takamiya K. (高宮久美子) ..... P104  
 Takano I. (高野功) ..... P274  
 Takaya Y. (高谷美正) ..... B210  
 Takayabu I. (高嶽久) ..... B362  
 Takayabu Y. (高嶽縁) ..... P355  
 Takayama Y. (高山陽三) ..... B209  
 Takemi T. (竹見哲也) ..... A303  
 Takemura T. (竹村俊彦) ..... A353  
 ..... P102  
 Takeuchi Y. (竹内義明) ..... P126  
 Takigawa M. (滝川雅之) ..... B108  
 Tamura K. (田村耕一) ..... P118  
 Tanahashi S. (棚橋修一) ..... P345  
 Tanaka Hirok. (田中広樹) ..... B356  
 Tanaka Hiros. (田中博) ..... B306  
 Tanaka M. (田中美) ..... P321  
 Tanaka Y. (田中恵信) ..... P293  
 Terada H. (寺田宏明) ..... P116  
 Terao T. (寺尾徹) ..... P188  
 Terao Y. (寺尾有希夫) ..... P205  
 Teshiba M. (手柴充博) ..... P270  
 ..... P352  
 Toda M. (戸田求) ..... P382  
 Tohjima Y. (遠嶋康徳) ..... P221  
 Tokinaga H. (時長宏樹) ..... P227  
 Tomikawa Y. (冨川喜弘) ..... B113  
 Tomita H. (冨田浩文) ..... P225  
 Tomita T. (冨田智彦) ..... P155  
 Toyoda E. (豊田英司) ..... P395  
 Toyota K. (豊田賢二郎) ..... P142
- Tsuboki K. (坪木和久) ..... P362  
 Tsubota Y. (坪田幸政) ..... P393  
 Tsugawa M. (津川元彦) ..... P224  
 Tsushima Y. (對馬洋子) ..... P198  
 Tsutsumi Y. (堤之智) ..... A107
- < U >
- Uchiyama T. (内山貴雄) ..... P170  
 Ueda H. (植田宏昭) ..... A304  
 Uematsu A. (植松明久) ..... P254  
 Uemura A. (上村暁寛) ..... P308  
 Uemura H. (植村八郎) ..... P369  
 Ueno Yos. (上野義和) ..... P233  
 Ueno You. (上野洋介) ..... P364  
 Ushiyama T. (牛山朋来) ..... P269
- < W >
- Wada E. (和田英子) ..... P253  
 Wakatsuki Y. (若月泰孝) ..... P263  
 Wakimizu K. (脇水健次) ..... P363  
 Wang Z. (王自發) ..... P115  
 Watai T. (渡井智則) ..... P223  
 Watanabe A. (渡辺明) ..... P180  
 ..... P359  
 Watanabe K. (渡辺幸一) ..... P122  
 Watanabe M. (渡部雅浩) ..... A203  
 Watanabe S. (渡辺真吾) ..... B115  
 Watanabe To. (渡辺知弘) ..... B307  
 Watanabe Ts. (渡辺力) ..... P383  
 Watarai Y. (渡来靖) ..... P342  
 Wu P. (伍培明) ..... P317
- < X >
- Xu J. (徐健青) ..... P158
- < Y >
- Yagai I. (谷貝勇) ..... A301  
 Yamada H. (山田広幸) ..... P366  
 Yamada Y. (山田芳則) ..... P291  
 ..... P367  
 Yamagata Y. (山形与志樹) ..... B354  
 Yamaguchi K. (山口和貴) ..... P326  
 Yamaguchi Y. (山口叔史) ..... P376  
 Yamamoto A. (山本哲) ..... B309  
 ..... B310  
 Yamamoto K. (山本和美) ..... P145  
 Yamanaka T. (山中勤) ..... P213  
 Yamauchi T. (山内恭) ..... P284  
 Yamazaki M. (山崎充) ..... P314  
 Yamazaki N. (山崎信雄) ..... P166  
 Yamazaki T. (山崎剛) ..... A307  
 Yasojima T. (八十嶋恒和) ..... P163  
 Yasuda Y. (安田幸生) ..... P217  
 Yasui M. (安井元昭) ..... P243  
 Yatagai A. (谷田貝重紀代) ..... P156  
 Yoden S. (余田成男) ..... B110  
 Yoshida A. (吉田聡) ..... P344  
 Yoshihashi S. (吉橋幸子) ..... P370  
 Yoshimura H. (吉村裕正) ..... P338  
 Yoshino J. (吉野純) ..... P360  
 Yoshioka M. (吉岡真由美) ..... P171  
 Yoshizaki M. (吉崎正憲) ..... P268  
 Yukimoto S. (行本誠史) ..... P325  
 Yumoto M. (湯本道明) ..... P182
- < Z >
- Zaizen Y. (財前祐二) ..... A362  
 Zhang D. (張代州) ..... P242